

令和 5 年度		3 学年		商業 科	
教科名	商業	科目名	課題研究 (プロデュースD プログラミング)	2 単位	
		担当者			
1. 学習目標					
プログラミングに関する基本的な知識、技能を学び、プログラム作成に取り組む。プログラムを作成するにあたり、プログラム言語の特徴や構成について学ぶ。プログラミングを通して機器の制御技術を学ぶ。					
2. 使用教材等					
・教科書名					
・副教材名 事例で学ぶプログラミング(実教出版) その他各自課題設定に応じて準備購入の有り					
3. 学習項目 (学習内容)					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	情報機器の理解 プログラム開発の手順 プログラム言語の理解	機器の特徴や操作方法など基本知識を学ぶ アルゴリズムの理解とフローチャートの作成方法の学習 HTML、VBAマクロを使ったプログラミングを行う	18	
	5				
	6				
	7				
2	8	プログラム言語の理解	プログラム作成を通して、処理手順の構想やプログラミング手法を研究 開発したい処理やゲームなどを念頭にアルゴリズムやプログラム設計を研究	25	
	9				
	10	システム開発の手順と手続き システム開発	プログラム開発のための手順に関わる仕様書の作成、考え方などを学ぶ 作成したモジュールの組み立てやプログラム全体の構成を考え、プログラミングする		
	11				
12					
3	1	システム開発	処理に応じたプログラミングと研究のまとめ	7	
	2				
	3				
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度		ビジネスの諸活動に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。			
②思考・判断・表現		プログラミングに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、機器を利用した処理に対し適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。			
③技能		商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を活かし、情報機器の有効な扱いや操作技術を身に付け、適切に活用している。			
④知識・理解		情報機器の特徴やプログラム言語の種類、特徴による利用場面等の理解。プログラムを構築することで処理技術の向上、効率化の利便性や必要性を理解している。			
5. 評価の方法					
・定期考査： なし					
・課 題： プログラム言語の理解とプログラミング技法の探求					
・授業態度： 自ら課題に立ち向かい解決する発意を広げているか					
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
自由な発想と処理手順を具体的に考えるアルゴリズムの習得に心がける。					